

「JR連合ビジョン」の実践と
政策の推進を通じて、
JR産業の持続的発展と
組合員の幸せを実現しよう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10

東興ビル9階

TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848

FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849

1部20円 (但し組合費に含む)

●発行者 荻山市朗 ●編集者 今井孝治

facebook

JR連合

twitter

JR連合

第30回臨時大会・第33回中央委員会 強固な団結と健全な労使関係で難局を克服し JR産業の明るい未来を切り拓こう



仲間の絆を深め、創意工夫しながらJR連合への総結集と健全な労使関係の確立に向け意志統一を図る

2021春季生活闘争方針決定

JR連合は、2月2日、北九州市において、第30回臨時大会・第33回中央委員会を開催した。開催に際しては感染症予防に万全を期するとともに、会場の様子をライブ配信し、緊急事態宣言下にあっても全国の仲間と難局を克服すべく意志統一を図った。

臨時大会では、機関会議の運営に関する規約・諸規則の改正が承認された。そして、中央委員会では、安全の確立を最優先に、コロナ禍への対応や2021春季生活闘争方針を含む当面の活動方針を、真摯な討議を経て満場一致で決定した。

また、新たに加盟した「JR西日本福岡メンテック労働組合」の神菊敏士委員長と藤田裕也書記長が出席し、JR連合への加盟証書が贈呈され、盛大な拍手で迎え入れられた。神菊委員長からは、コロナ禍で労働組合の必要性が高まっている現状が語られ、JR連合への総結集に向けた決意を会場全体で共有した。

冒頭、開催エリアの単組を代表した中原博徳副会長（JR九州労組中央執行委員長）の開会挨拶で始まり、臨時大会・中央委員会両方の成立が確認された。そして、議長に相良夏樹中央委員（JR東海ユニオン）を選出し、議事が進められた。

JR連合荻山市朗会長の挨拶の後、臨時大会の議案としては、コロナ禍のような不測の事態においても、関係者相互間の自由かつ闊達な意思疎通を十分担保しつつ、インターネット通信等を活用して機関運営を行うための規約・諸規則の改正が提起され、承認を受けた。

2021春季生活闘争は、JR連合を結成して初めて

を最優先に取り組むこととし、賃上げ要求では、まず、年度初めにおける定期昇給の完全実施を求める。その上で、総合生活改善や格差是正の観点に立ち、労働諸条件の改善原資として月例賃金総額2%相当分を求める。

さらに、中期労働政策ビジョンで設定した必達目標賃金に未達の単組においては、名で得た組織力を活かしながら、全力で取り組むことを前提に、コロナ禍の危機克服に向けた当面の活動と、ポストコロナの社会変容を見据えた取り組みの方針について提起する。

◆危機克服のための緊急対応
JR連合は昨年4月よりJRグループへの支援や、鉄道や公共交通の安全性の発信などを国に求める緊急要請を繰り返し実施した。また、各単組と連携して組合員の雇用と生活を守る取り組みを進めてきた。昨秋実施した「JR産業に関する緊急政策課題の解決を求める署名」では22万4000筆を集約することができ、精力的な協力に感謝申し上げる。そして、11月25日の決起集会で思いを結集し、赤羽一嘉国土交通大臣や田村憲久厚生労働大臣等に署名を手交し要請を行った。この運動によりJR連合の存在感や影響力は高まり、JR7社の連携を後押しして、組織力、求心力を強化するなど大きな成果を収めることができた。そして、第3波の感染拡大と再度の緊急事態宣言に伴う利用の激減に対しても、署

名で得た組織力を活かしながら、全力で取り組むことを前提に、コロナ禍の危機克服に向けた当面の活動と、ポストコロナの社会変容を見据えた取り組みの方針について提起する。

◆危機克服のための緊急対応
JR連合は昨年4月よりJRグループへの支援や、鉄道や公共交通の安全性の発信などを国に求める緊急要請を繰り返し実施した。また、各単組と連携して組合員の雇用と生活を守る取り組みを進めてきた。昨秋実施した「JR産業に関する緊急政策課題の解決を求める署名」では22万4000筆を集約することができ、精力的な協力に感謝申し上げる。そして、11月25日の決起集会で思いを結集し、赤羽一嘉国土交通大臣や田村憲久厚生労働大臣等に署名を手交し要請を行った。この運動によりJR連合の存在感や影響力は高まり、JR7社の連携を後押しして、組織力、求心力を強化するなど大きな成果を収めることができた。そして、第3波の感染拡大と再度の緊急事態宣言に伴う利用の激減に対しても、署

名で得た組織力を活かしながら、全力で取り組むことを前提に、コロナ禍の危機克服に向けた当面の活動と、ポストコロナの社会変容を見据えた取り組みの方針について提起する。



のうえで、JR各社やグループ会社で若手や中堅の離職が増加する事態に危機感を持ち、コロナ後のJR産業の持続的発展に向けた人材の確保と定着のためにも、社会を支える私たちの働きの価値に見合った賃金の実現や、社会変容を見据えた働き方の改革を求めていく。賃上げについては、連合方針に基づき、底支えと格差是正を重視し、中期労働政策ビジョンに定める「必

賃金を「働きの価値に見合った」水準へと引き上げるため、労働諸条件の改善原資のうち1000円を目安に純ベア要求を行うこととした。加えて、当該ビジョンの提言に基づく総合生活改善

に取組むとともに、中央委員会でも内外に明らかにした「今後の社会変容を見据えた働き方に関する第一次提言」に基づく働き方改革にも取組む。産業の魅力により高めることとした。新規加盟組合紹介では、JR西日本福岡メンテック労働組合の神菊委員長より、160人及び組合員の加入報告に加え、「コロナ禍で職場に不安が広がっているが、健全な労働組合と労使関係の重要性が認識されるようになった。厳しい時にこそ、働く者が将来に展望の持てるJRグループを築くため、JR連合に結集する一員として微力ながら

達目標賃金」への到達に最大限取り組むこととする。なお、今春季生活闘争では初めてJR7単組とグループ労組の方針を統一して提起した。全単組が一致となり、JR連合の総力を結集して「ONE TEAM」で臨んでいく。

◆将来の社会変容への対応
JR産業の持続的発展のためには、社会の変化に引き合い、労使を挙げて変革を進めなければならない。JR連合はJRの

達目標賃金」への到達に最大限に取り組むこととする。なお、今春季生活闘争では初めてJR7単組とグループ労組の方針を統一して提起した。全単組が一致となり、JR連合の総力を結集して「ONE TEAM」で臨んでいく。

達目標賃金」への到達に最大限に取り組むこととする。なお、今春季生活闘争では初めてJR7単組とグループ労組の方針を統一して提起した。全単組が一致となり、JR連合の総力を結集して「ONE TEAM」で臨んでいく。

達目標賃金」への到達に最大限に取り組むこととする。なお、今春季生活闘争では初めてJR7単組とグループ労組の方針を統一して提起した。全単組が一致となり、JR連合の総力を結集して「ONE TEAM」で臨んでいく。

苦境を克服するためには上意下達でなく、働く仲間が正しく危機感を共有し主体的に変革に臨むことが重要である。さらに政策要求の実現には、労使が連携し発信力を強化する必要がある。難局にこそ、その役割を担う労働組合が力を発揮しなければならない。

ピンチは転機であり、転機はチャンスである。「JR連合ビジョン」で掲げるように、仲間の絆を深め、創意工夫しながらJR連合への総結集と健全な労使関係の確立に全力で取り組もう。

苦境を克服するためには上意下達でなく、働く仲間が正しく危機感を共有し主体的に変革に臨むことが重要である。さらに政策要求の実現には、労使が連携し発信力を強化する必要がある。難局にこそ、その役割を担う労働組合が力を発揮しなければならない。



加盟証書を受けとったJR西日本福岡メンテック労組

《中央委員発言要旨》

建設的な発言で活動方針を補強

菊池中央委員「JR東海ユニオン（青年・女性）」



・コロナ禍により世の中での働き方は大きく変化しているが、青年・女性委員会世代が今後もJR産業で長く安心して働くために、子育て中の組合員も含め誰もが働きやすい労働環境をつくる必要がある。一層の取り組み強化をお願いしたい。

・現在、青年・女性委員会の活動はコロナ禍により中止、延期が相次いでいる。そのような中、昨年11月には電力総連青年委員会と産別を越えた意見交換会を行い、改めて仲間づくりの大切さを実感した。5月に予定されているユースラリーに協力する。

も今までのやり方にとらわれず、今できる最大限の方法で開催したい。協力をお願いする。

・JR東日本は、昨年9月に赤字の通期連結業績予想を発表し、今年1月下方修正した。2年連続の赤字は是が非でも回避したく、この間のJR連合の要請行動や署名活動には大きな価値があると考えている。



・JRユニオンは、困難な状況乗り越えるため、11月に雇用を守り、会社の維持・発展に向けた「会社

木村中央委員「JR九州労組」

・コロナウイルス感染症の予防対策と、それに関わる諸経費への補助など、関連する政策課題の解決に向け、JR連合、地方交通労協と連携を密にして取り組みを強化する。



・昨年11月に開催された決起集会は、JR産業に働くすべての仲間のJR連合への総結集をめざして策定された「JR連合ビジョン」の中で示された6本の行動指針を、まさに実践したものだ。JR九州連合としても、引き続きコロナ禍に関わる諸課題への対応とあわせ、「JR連合ビジョン」の浸透に取り組み

武智中央委員「JR四国労組」



この取り組みにより来年度以降の支援が閣議決定された。この間のJR連合の取り組みに感謝を申し上げる。引き続き、コロナ禍に対する雇用調整助成金の特例措置の延長をはじめとする課題解決に向けた取り組みをお願いする。JR四国労組も

吉田中央委員「JR九州労組（男女平等参画）」

・コロナ禍により、男女平等参画推進委員会や連合の中央女性集會もウェブを活用

小山中央委員「貨物鉄産労」

・安全の確立については、意識の定着や深度化にまだ余地が残されている。労使ともにその現実を重く受け止め、会社に対しJR貨物連合としての具体的な提言を行っていく。

・昨秋に取り組んだ緊急署名では、グループ労組を合わせた組合員数の12倍を超える3万7000筆を集約することができた。支援策を実現させなければ、自分たちの労働条件はもとより、四国の移動の足が守れなくなるといった課題を、組合員一人ひとりが認識し最大限取り組み成果である。

の意識改革「職場改革」―労働改革―を提起した。グループ会社を含む社員とその家族を守るため、労使が一体となり、職場にはびこる一体感と危機感の欠如、そして空虚感を一掃する取り組みを断行する決意である。その取り組みを通じて健全で強固な労使関係を構築し、早期に組織拡大へと繋げる。

・2021春季生活闘争は、JR産業を代表する責任産別であるJR連合の運動方針に賛同し、すべての労働者が安心して働き続けることができる職場環境づくりを取り組む決意である。

人見中央委員「JR北労組」



・2021春季生活闘争は、JR産業を代表する責任産別であるJR連合の運動方針に賛同し、すべての労働者が安心して働き続けることができる職場環境づくりを取り組む決意である。

・JR北海道では昨年8月、2人が亡くなる交通事故死亡労働災害事故が発生した。原因点である職場から、対話や課題提起により安全の確立を進める。

・JR北海道の経営自立の実現に向けた昨年11月の決

から構



・2021春季生活闘争では、厳しい現状を認識しつつも、賃金を働きの価値に見合った水準へと引き上げるべく、グループ労組一体となって取り組み決意である。

西原中央委員「JR西労組（自動車）」

・コロナ禍でバス事業が苦境に立たされているが、一時的な災害と違って需要が元に戻らないのであれば、

産労であることを、職場の仲間にも会社にも強く訴え

島田特別中央委員「JR九州連合（グループ）」

・グループ会社は危機的経営状況にあるが、JR連合ふれあいキャンペーンなどによる応援や、命綱となっている雇用調整助成金の特

委員会宣言

本日、私たちはJR九州ステーションホテル小倉において第33回中央委員会を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営環境の悪化は深刻さを増しているが、JRの責任産別として、加盟100単組・組合員87,000人の強固な団結と労使関係でこの難局を克服する決意を固め合った。そして、以下の重要課題に対する活動方針を満場一致で決定した。

第一に、コロナ禍への対応では、JRグループ全体で苦境を乗り越えるため、労使挙げての自助努力を前提としつつ、昨秋の署名活動や決起集会の成果を糧に、要請行動に継続して注力する。また、職場における労働組合活動を停滞させないための世話役活動を後押しするとともに、将来の社会変化を見据えた産業政策・労働政策両面の提言の策定を進め、運動と政策をともに進化させるべく取り組む。

第二に、安全の確立では、福知山線列車事故をはじめとする重大事故の反省と教訓を胸に刻み、風化させることなく「安全は絶対に譲らない」との信念を共有し、実効性のある取り組みを高度化させていく。そして、JRグループ全体での安全を確立するべく、第29回定期大会以降に発生した痛ましい7人の方の労災死亡事故を直視し、原点である職場における安全衛生活動を、グループ会社や協力会社も含めて一層の強化を図る。

第三に、2021春季生活闘争は、現下の環境を踏まえれば厳しい取り組みになることが避けられないが、JR産業で働くすべての仲間の雇用と生活を守るとともに、感染リスクを抱えながらもさまざまな職場で奮闘し社会的使命を果たし続けている仲間が希望を持って働き続けられるために、諸労働条件を「中期労働政策ビジョン」で掲げる「働きの価値に見合った」目標に到達させるべく、「ONE TEAM」で統一闘争を展開する。

第四に、組織の強化・拡大については、JR連合運動の羅針盤である「JR連合ビジョン」を實踐し、JR産業で働く仲間の総結集をめざす。コロナ禍においても各単組の世話役活動の活性化を支援し、組合員の声に基づく労使協議を充実させることで労使関係をさらに強化し、会社のパートナーとしての存在感を高めていく。加えて、民主化闘争の完遂やグループ会社における組織化を通じ、組織拡大の取り組みを一層強化する。

第五に、JR産業が将来にわたり持続的に発展していくために、取り巻く経営環境を踏まえ、個別労使では解決できない政策課題の解決にむけて、JR連合が関係主体と連携し、能動的に解決に向け取り組む。とりわけJR北海道、JR四国、JR貨物の課題は、「チーム公共交通」、「チーム地域共創」の形成を念頭に、支援策のあり方を巡る議論の高度化を図る。

JR連合は、JR産業に集うすべての仲間の明るい将来のために、取り巻く社会構造の変化を冷静かつ客観的に捉え、柔軟な発想に基づき関係主体と胸襟を開いて語り合い、自らの力で未来を切り拓いていく決意である。

以上、宣言する。
2021年2月2日

日本鉄道労働組合連合会
第33回中央委員会

組もある。不利益変更も提えられかねない内容であり、JR連合やエリア連合と相談しながら慎重に進めている。ただ、今後も想定していかなければならない対応であり、組合員の不満や疑問を解消しながらあらゆる施策



松原中央委員「JR西労組」

・安全の確立について、福知山線列車事故から間もなく16年を迎えようとしている。JR西労組の安全提言を、現場で使いやすい、理解しやすいよう改定する予定にしておき、さらに活用



・昨秋の緊急署名の効果もあり、雇用調整助成金の特例措置が一旦延長されるが、さらなる延長も求められている状況である。公租公課の負担軽減も含め、JR

・2021春季生活闘争は、現下の環境を踏まえれば厳しい取り組みになることが避けられないが、JR産業で働くすべての仲間の雇用と生活を守るとともに、感染リスクを抱えながらもさまざまな職場で奮闘し社会的使命を果たし続けている仲間が希望を持って働き続けられるために、諸労働条件を「中期労働政策ビジョン」で掲げる「働きの価値に見合った」目標に到達させるべく、「ONE TEAM」で統一闘争を展開する。



・2021春季生活闘争は、現下の環境を踏まえれば厳しい取り組みになることが避けられないが、JR産業で働くすべての仲間の雇用と生活を守るとともに、感染リスクを抱えながらもさまざまな職場で奮闘し社会的使命を果たし続けている仲間が希望を持って働き続けられるために、諸労働条件を「中期労働政策ビジョン」で掲げる「働きの価値に見合った」目標に到達させるべく、「ONE TEAM」で統一闘争を展開する。



発言に対し真剣に耳を傾ける中央委員

JR各単組で委員会を開催 春季生活闘争方針を決定

JR東海ユニオン第35回中央委員会

「2021 FUTURE」を着実に推進

JR東海ユニオンは、2月5日、静岡市内にて第35回中央委員会を開催した。緊急事態宣言が発令される中での開催であることを踏まえ、構成員の多くがウェブ会議システムを活用して遠隔から参画する中で執り行われた。JR連合からは萩山会長、尾形事務局長が参加した。

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

要不可欠であり、本日提起する当面の重点活動を全ての組合員と共有した上でユニオン運動を実践しよう」と述べ、2021春季生活闘争方針をはじめとする当面する諸課題に対して真摯な議論と決定以降の職場における推進を呼び掛けた。質疑では7人の中央委員から、春季生活闘争、安全



JR東海ユニオン第35回中央委員会



JR西労組第39回中央委員会



JR四国労組第34回定期本部委員会

JR西労組第39回中央委員会 会社存続と雇用と生活を守る

JR西労組は2月5日、第39回中央委員会を開催した。緊急事態宣言が発令・延長される中、大阪をメイン会場に、各地本をウェブ会議システムで繋ぐ形式で、感染対策に万全を期して短時間での開催とした。

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

2021春季生活闘争については「年度初における基準給完全実施」「ベースアップ要求見送り」「年間臨給3・5ヶ月」を提起し、「初となるベア要求の見送りは性根たる思い。会社を存続させ、雇用と生活を守ることを最優先する方針に理解を」と訴えた。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

JR北労組第18回中央委員会 「組織春闘」で「職場10要求」を実現

JR北労組は2月6日、札幌市内で、第18回中央委員会を開催し、当面する活動方針を決定した。JR連合からは、北村公次労働政策部長が出席した。

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生

冒頭、挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長（JR連合副会長）は、「会社を取り巻く環境は極めて厳しい状況である。先月からは一

冒頭、上村良成中央執行委員長（JR連合副会長）が挨拶に立ち、経験したことのない状況下での中央委員会として、安全をはじめとする主要課題に対する見解を語り、建設的に将来に繋がる討議を要請した。

議員懇談会所属の泉健太議員（衆・京都3区）、岸本周平議員（衆・和歌山1区）から連帯のビデオメッセージが寄せられた。JR連合からは中村鉄平交通政策部

御礼を述べた。続けてJR連合の当面の活動方針について提起し、さらなる連帯を訴えた。

冒頭、挨拶に立った中原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、緊急政策課題の解決に向けた昨秋の署名活動や決起集会、数回の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生